

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(/ /)
授業科目名：生涯スポーツ・レクリエーション I 英語表記：Sports and Recreation I ナンバリング：1016		単位数：1単位 (半期) 実技	担当教員名：柿沼耕一 担当形態：単独
科目/系列	/		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 生涯スポーツ、レクリエーションの様々な種目を体験することにより、各種ルールを正確に理解することができる。 2. 自分自身が「できる」とともに、スポーツを通して周りとのコミュニケーションを取りながら達成することの重要性を理解することができる。 3. ニュースポーツに挑戦することにより、触れ合う楽しさや喜びを通して、生涯スポーツの意味や重要性を考えていくことができる。			
【授業の概要】 健康の維持・増進のために取り組むことのできるスポーツを知ること、ならびに「動く」ことに対する人体への関心・理解を深めることを主な目的とする。また、これまで経験してきたスポーツや運動遊びには様々な発展のさせ方があることを知り、実際に体験することにより理解を深める。さらに、本授業を通して周りとの協力することやコミュニケーションをとることの重要性を身につけ、生涯スポーツ・レクリエーションとは何かについて考えていく。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			○
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			○
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】 第1回：オリエンテーション・アイスブレイク 第2回：鬼遊び①、体力・形態の測定の準備と練習 第3回：体力・形態の測定と評価 第4回：鬼遊び② 第5回：バドミントン 第6回：卓球 第7回：バレーボール、ソフトバレーボール 第8回：バスケットボール、セストボール 第9回：アルティメット 第10回：ドッジボール、フライングディスクドッジボール 第11回：卓上遊び（マンカラ、自作ビンゴゲーム等） 第12回：昔の遊び（けん玉、輪投げ等）		【授業時間外の学習】 ・体力、形態測定の方法と原理について学び、理解しておく。（2時間） ・これまでに経験した鬼遊びの内容やルールを振り返っておく。（2時間） ・バドミントン、卓球、バレーボール、バスケットボールのルールおよびゲームの展開について学び、理解しておく。（各1時間） ・これまでに経験したドッジボールの内容やルールを振り返っておく。（1時間） ・アルティメットについて学んでおく。（1時間）	

<p>第13回：ターゲット型ゲーム①（ボッチャ、ペタンク等） 第14回：ターゲット型ゲーム②（ラダーゲッター、バグゴ等） 第15回：ターゲット型ゲーム③（スカットボール等） 定期試験：レポート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の遊びを学ぶとともに、昔の遊びを振り返って思い出しておく。（2時間） ・ターゲット型ゲームについて学んでおく。（3時間）
<p>【授業の方法】 講義（教室）ならびに体育館での実技。期末レポートにはコメントを記入して返却する。</p>	
<p>【テキスト】 なし（必要な資料は適宜配布する。）</p>	
<p>【参考書・参考資料等】 授業内で適宜紹介する。</p>	
<p>【学生に対する評価】 授業参画度（10%）、授業内での小レポートの提出（30%）、ルーブリック評価の活用（10%）、期末レポート（50%）の総合評価とする。</p>	
<p>【履修上の注意】 運動着と運動シューズ（内履きスニーカー）を持参・着用の上、参加すること。</p>	
<p>実務経験の有無：有</p>	<p>実務経験：元公立小学校教諭・教頭・校長</p>
<p>【実務経験を生かした教育内容】 小学校における体育授業の指導経験を活かし、楽しいスポーツ・レクリエーションの考え方を理解できるようにするとともに、実際の指導方法を身に付けることができるような授業を展開する。</p>	